

関係者各位

当社の現状に関するご報告

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本日開示いたしました「通期業績予想の修正及び中期経営計画の取り下げに関するお知らせ」に記載のとおり、当社グループの平成 29 年 12 月期の連結業績見通しにつきましては、売上高 1,700 百万円、営業利益 70 百万円、経常利益 50 百万円、当期利益 10 百万円と当初予想を大きく下回る業績見通しとなり、同時に、平成 28 年 9 月に発表いたしました中期経営計画を取り下げることにいたしました。会社として掲げた業績予想及び中期経営計画を守ることが出来なかったことに関し、株主様及び関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

業績予想及び中期経営計画の目標数値を大きく下回る見込みとなったのは、中期経営計画の基本方針に掲げた「不動産販売事業の拡大」を実現するため、資本提携先である上海徳威グループとの連携強化で中国投資家への日本の収益不動産の販売拡大を見込んだものの、中国の海外投資のための資金送金の許可手続きがより厳格化されたことなどにより、中国投資家の日本の不動産購入マインドが下がり、計画通りに収益不動産の販売が進まなかったことが要因と考えております。中国投資家への販売が難しい状況となったため国内の投資家への販売に注力したものの、そのための組織体制の整備に時間がかかり計画どおりに収益不動産を販売することが現時点で出来ておりません。その他の事業に関しましては当初の計画で見込んだ進捗をしております。横浜エリアを中心とした戸建の販売事業に関しましては 10 棟以上の販売（前年度は 6 棟）を見込んでおり、不動産管理事業に関しましては中国のサービスアパートメントの管理棟数が減少したことなどにより前年度より減収・減益が見込まれるものの、不動産仲介事業に関しましては収益不動産の売買仲介取扱件数が増加し、不動産賃貸事業に関しましては収益不動産の取得により、それぞれ前年度を上回る売上・利益を見込んでおります。グループ全体として当初計画を大きく下回る業績見込みとなっている状況ではありますが、前年比較で言いますと売上高、営業利益は前年度を上回る見込みであり、グループとしての成長が止まっている状況ではないことはご理解いただければと思います。

今後につきましては、日本国内投資家向けに収益不動産を販売していくための組織強化及び取引先との関係強化により一層注力し、更なる収益力の向上、企業価値の向上を進めてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 11 月 30 日

株式会社 ASIAN STAR

代表取締役社長 小坂 竜義